



Agilent Technologies

Press Information

※このお知らせは、米国時間 2010 年 8 月 16 日にアジレント・テクノロジーズ・インクが発表したニュースリリースを、アジレント・テクノロジー株式会社が和訳・要約したものです。

<お知らせ>

2010 年 8 月 17 日
PRCOPR10-17

アジレント・テクノロジーズ・インクが 2010 年度第 3 四半期の業績を発表

概要

- GAAP ベースの純利益は 2 億 500 万ドル、1 株あたり利益は 0.58 ドル
- 非 GAAP ベースの純利益は 1 億 9100 万ドル、1 株あたり利益は 0.54 ドル (*1)
- 受注高は前年同期比 39%増の 14 億 9000 万ドル、売上高は前年同期比 31%増の 13 億 8000 万ドル
- バリアン買収および直近の事業売却分を除くと、受注高は前年同期比 30%増、売上高は前年同期比 24%増 (*2)
- バリアン買収は完了。事業統合作業は計画通り進行中
- 第 4 四半期の非 GAAP ベースの 1 株あたり利益のガイダンスは 0.58~0.59 ドル (*3) (前年同期は 0.32 ドル (*1))。第 4 四半期の売上高のガイダンスは 15 億 2000 万ドル
- 2010 年通期の非 GAAP ベースの 1 株あたり利益の見込みは、1.94~1.95 ドル (*3) に上方修正

アジレント・テクノロジーズ・インク（社長兼 CEO：ビル・サリバン、本社：米国カリフォルニア州サンタクララ、NYSE:A、日本法人：アジレント・テクノロジー株式会社）は、2010年7月31日で終了した第3四半期の売上高が前年同期比31%増の13億8000万ドルであったことを発表します。バリアン買収および直近の事業売却の影響を除くと前年同期比24%増でした。第3四半期のGAAPベースの純利益は2億500万ドルで、希薄化後の1株あたり利益は0.58ドルでした。前年度第3四半期のGAAPベースの純損失は1900万ドルで、1株あたり利益は▲0.06ドルでした。

第3四半期には、事業売却に伴う1億2300万ドルの収入、バリアン買収・事業統合関連費用として8300万ドル、無形資産の償却費用として2800万ドル、事業再構築費用として600万ドルを計上しています。これらの項目、および800万ドルの営業外利益を除くと、当社の調整後の第3四半期の純利益は1億9100万ドル、1株あたり0.54ドル(*1)でした。同じ基準で比較すると、当社の前年同期の利益は5300万ドル、1株あたり0.15ドル(*1)でした。

アジレントの社長兼最高経営責任者であるビル・サリバンは次のように語っています。

「私どもは非常に堅調な四半期であったことに満足しています。バリアン事業統合も順調に進んでいますし、既存事業という点でも、当社の全製品群、全地域において素晴らしい成長を遂げることができました。」

化学分析事業の売上高は前年同期比62%増、自然成長分のみで見ると13%増となりました。応用市場全般で成長が見られました。環境、石油化学、法医学市場は、いずれも二桁成長を遂げることができました。

ライフサイエンス事業の売上高は前年同期比28%増、自然成長分のみで見ると15%増となりました。学術・政府関連のお客様からの需要が好調でした。新興市場での需要が牽引し、製薬企業の研究開発分野の成長も続きました。

電子計測事業の売上高は前年同期比24%増となりました。ネットワーク・ソリューションズ事業の売却分を除くと34%増となっています。通信、航空宇宙・防衛、産業、半導体など、当社が参入する全分野にわたって堅実な成長を見せました。

第3四半期の投下資本利益率（ROIC）は20%(*4)となりました。前年同期の投下資本利益率は9%(*4)でした。在庫日数は9日分減少し97日となりました。売掛金回収日数は前年同期と比べ4日長くなり50日となりました。これはバリアン買収の影響によるものです。第3四半期の営業キャッシュフローは9000万ドルとなりました。第3四半期末時点で2億6700万ドルの現金を有しています(*5)。

今後の見通しに関して、サリバンは次のように語っています。

「当社の事業環境については前向きの見方を続けており、第4四半期のガイダンスも引き上げました。当社では続々と新製品を投入しており、さまざまな市場におけるビジネスチャンスに追随していけるものと期待しております。」

第4四半期の売上高は、前年同期比約30%増の15億2000万ドル程度となる見込みです。第4四半期の非GAAPベースの1株あたり利益は0.58~0.59ドル(*3)と見込んでいます。

2010年度通期の売上高は前年同期比約20%増の54億ドル程度となる見込みです。非GAAPベースの1株あたり利益は1.94~1.95ドル(*3)と見込んでいます。

#

このお知らせに関する報道関係者各位からのお問い合わせ先：

広報担当 関

電話：042-660-8426

アジレント・テクノロジーについて

アジレント・テクノロジー（NYSE:A）は、コミュニケーション、エレクトロニクス、ライフサイエンス、化学分析市場における世界のプレミア・メジャメント・カンパニーであり、またテクノロジー・リーダーでもあります。18,500名の従業員を擁し、100カ国以上でビジネスを展開しています。アジレントは、2009年度、45億ドルの売上高を達成しました。アジレント・テクノロジーの情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.agilent.co.jp>

将来の見込みに関する記述について

このニュースリリースには、Securities Exchange Act of 1934 で定義された将来の見込みに関する記述があり、この法律に規定されたセーフハーバーの規定の効果が及びます。この将来の見込みに関する記述には、アジレントの将来の売上高・利益・収益性に関する情報、当社製品やサービスの将来の需要、2010年度第4四半期および2010年度通期の売上高および非GAAPベースの利益についてのガイダンスなどがありますが、これらに限りません。これらの情報にはリスクと不確かさが含まれており、アジレント・テクノロジーの実績が、結果として経営陣の現在の予想と大幅に異なることもありえます。そのようなリスクと不確かさには、当社のお客様の事業状況における予測不能の変化、現在および将来の製品や技術の要求における予測不能の変化、事業再構築による費用削減が期待どおりとならないリスクなどがありますが、これらに限りません。

さらに、アジレントが事業を行なっていく上で直面する他のリスクもあります。例えば、コストの削減を継続しながらビジネスサイクルにうまく対処していく能力、コスト削減の目標を達成しその利益を享受していく能力、ビジネス状況の変化に合わせたコスト構造をうまく採用していく能力、競合・価格・粗利益に対する圧力、コスト削減が製品開発力、競合力維持、業務効率に影響を与えるリスク、地政学上の不透明さや全世界の経済状況が当社の営業、市場およびビジネスを運営する能力に与える影響、需要の変化に合わせて資産管理を改善していく能力、需要の変化に応じてサプライチェーンを管理していく能力、新製品を適切なタイミング、適切な価格、適切な方法で成功裏に投入していく能力、当社がバリアン・インクの統合を成功させる能力、その他のリスクがあります。これらのリスクの詳しい説明は、2010年4月30日に終了した会計年度のForm 10-Qの四半期報告書などの米国証券取引委員会の書類に記載されています。将来の見込みに関する記述は、アジレントの経営陣の考えや仮定に基づいており、現在有効な情報に基づいています。アジレントは、将来の見込みに関する記述を公に更新する義務を負いかねます。

- *1 非 GAAP ベースの利益、非 GAAP ベースの 1 株あたり純利益は、主に統合費用、買収評価額の調整、事業体制変革費用、減価償却費用、および税効果を除いたビジネスの処理にともなう影響を除いたものです。
- *2 バリアン買収や直近の事業売却の影響を除いた売上高は非 GAAP ベースのもので、バリアン買収にともなう繰延歳入の評価の影響と、バリアン買収、ネットワーク・システムズおよびハイコア（Hycor）事業の売却の影響を除いたものと定義しています。
- *3 2010 年度第 4 四半期および 2010 年度通期の 1 株あたり純利益の見込みは非 GAAP ベースのもので、主に統合費用、買収評価額の調整、将来の事業再構築や資産評価替え費用、減価償却費用などを除いたものです。除外した費用のほとんどは、まだ起こっていない出来事や、現時点では極めて高い精度で予測することが困難な出来事に関連するものです。そのため、GAAP ベースで再計算した値は提供しておりません。将来の減価償却費は、四半期あたり約 3100 万ドルと見込んでいます。
- *4 投下資本利益率は非 GAAP ベースのもので、営業利益（損失）から、「その他の（収入）支出および税金の年額を直近の 2 四半期の四半期終了時の資産の平均から、現在の負債を減じたもので除したものを減じたもの」として定義されています。
- *5 非 GAAP ベースの現金総額（Net Cash）は、現金および預金（現金同等物）、使用に制限のある現金および預金（現金同等物）、投資の総額と定義しています。あるいは、負債から、「短期借入金、長期借入金、優先債権の総額」を減じたものとなります。